

えびな環境フォーラム

田中正造ドキュメンタリー映画 「赤貧洗うがごとき」

～環境活動研究発表会も同時開催～



市では、第9回えびな環境フォーラムを開催します。今回は、日本初の公害問題に立ち向かった田中正造氏のドキュメンタリー映画を上映します。

私たちの生活は年々便利になりますが、一方で地球温暖化の進行や自然破壊など、環境問題は深刻化しています。公害に関する映画

を見て、改めて環境問題について考えてみませんか。

●環境活動研究発表会・映画上映

▽日時 3月8日(土)12時30分～16時

▽会場 文化会館小ホール

▽内容 ▼研究発表Ⅱ海老名高校・中央農業高校

▼映画上映Ⅱ「赤貧洗うがごとき」(池田博徳監督作品・95分) ※上映前、監督あいさつ・講演会を行います。

▽対象・定員 市内在住、在勤、在学の方・300人(応募多数の場合抽選)。

●環境活動展示・環境ゲームなども同時開催

なお当日は、市内の児童や生徒、市民のみならず、取り組んだ環境保全活動の

成果を展示します。また、丸太を使ったパズル制作や、簡単なゲームに挑戦し、環境について勉強するコーナーもあります。

▽時間 10時～16時30分

▽会場 展示Ⅱ文化会館120サロン、ゲームⅡ22会議室 ※入場自由。

※環境保全のため、公共交通機関をご利用ください。

■ 2月15日(金)までに、電話・メール・ファクスで、住所(在勤・在学の方は勤務先名か学校名・所在地)、氏名、電話・ファクス番号、メールアドレス、入場希望人数を明記し、環境保全課へ。託児希望の方は、申し込み時にご相談ください。

■ 同課(☎235・4912、☎233・0346)。

市政の現場から

近年、当市は順調に発展を続け、毎年人口も増加しているため、住宅地も拡大傾向にあります。そのため、工場に住宅地が隣接するような地域が見受けられるようになり、工場の操業には近隣住宅地への配慮が必要不可欠となりました。

このように市内企業を取り巻く環境は厳しくなっており、市内の工業系企業数は減少傾向にあります。

昨年夏に実施した企業経営者との懇談の中でも、

住工混在は市の課題として指摘され、解決を望むご意見もいただきました。元気な企業が市内に立地することは、地域経済の活性化、地域での雇用創出、税収向上など、大きな効果が期待できるため、これ以上の市内企業流出

企業立地を奨励

は防がねばならないと、強い危機感を持っています。

一方、平成21年度には、さがみ縦貫道路海老名北インターチェンジの開設が予定され、交通便利性がますます向上することと期待されることと

しかし、企業の自主性に任せているだけでは無秩序な進出となり、いわゆる虫食い状態となってしまうことや、良好な農地が保全できなくなる恐れがあります。

そこで市では昨年、地域経済の活性化と雇用機

会拡大を目的として「海老名市企業立地促進方策」を策定し、この方策を具体化するため「海老名市企業立地促進条例」を今年4月に施行します。

この条例は、企業が市外からの移転や市内での建て替えなどを行った場

合に様々な奨励措置を講ずるもので、良好な土地利用にもつながると考えています。

市がこれからの持続的に発展していくためには産業振興が不可欠であり、この制度を積極的にPRして、多くの企業に利用していただきたいと考えています。

また、未利用地の実態調査や企業の移転に関する動向の把握、工業系の土地の新たな適地選定など、市ができることに積極的に取り組み、効果的な企業誘導を図りたいと考えています。

市長 内野 優

環境まめ知識

地球温暖化のため「今日から・自ら」省エネ活動

近年、地球温暖化がますます深刻な問題となつていきます。温暖化の原因は、温室効果ガスと呼ばれる二酸化炭素などの大量排出によるものです。

二酸化炭素は、私たちの日常生活のあらゆる場面、例えば、発電に必要な石油、自動車のガソリンや軽油、暖

房器具の灯油、料理に使うガスなどから排出されます。また、現在社会問題となっている原油価格の高騰は、製造過程で石油を使用する食品やガソリンの値上げなどに、私たちの家計にも大きな影響を与えています。

これを機会に、石油は限りある資源であることを再認識するとともに、電気やガス、ガソリン等のエネルギー使用抑制など、普段から実践でき、家計の節約にも役立つ省エネの工夫をしてみませんか。

◆普段の生活では

①暖房器具やテレビなどは、必要ない時は消す

②冷蔵庫に物を入れ過ぎない

③電気製品を長時間使わない

◆自動車を使う時は

①必要な時以外は車に乗らず、公共交通機関を利用する

②車内の不要な荷物を降ろし、車を軽くする

③暖気運転はせず、エンジンをかけた後、すぐに発する

④アイドリングストップを心掛ける

⑤車の購入時は、ハイブリッド車や低排出ガス車など

どの低公害車を選ぶ。 ※自動車は二酸化炭素のほか、窒素酸化物・一酸化炭素・粒子状物質などの大気を汚染する物質も排出します。特にこの時期は、地表と上空の大気の流れが悪くなり、これら汚染物質の濃度が高まります。大気汚染防止のためにも、自動車の使い方を見直してみてください。

冬は、電気やガスの消費が多くなり、家庭からの二酸化炭素排出量が増える季節です。「明日から・だれかがやるのではなく、私たちがやるのではなく、私たちが一人一人が、「今日から・自ら」温暖化防止に向けて省エネを実践しましょう。

■ 環境保全課(☎235・4912)。

「市長への手紙」をご利用ください

「市長への手紙」は、みなさんの市政に対する質問や意見を市政運営に生かすための制度です。市役所や各コミセン、郵便局などに備え付けの「はがき」や官製はがき、封書、市ホームページで受け付けています。回答は、原則として文書で郵送しますので、回答を希望する方は、住所・名前をご記入ください。

最近寄せられた手紙

Q1 子どもたちは、17時のチャイムを合図に帰宅していますが、冬になると17時でも辺りは暗く、交通安全対策でも大変危険です。

冬期だけ16時30分にチャイムを鳴らしている他の自治体もあるようです。子どもの安全を守るため、冬期のチャイム時間変更について、海老名市でも早急に検討してください。

A1 チャイムの季節ご

との時間変更について、平成17年度に各学校のPTA会長が協議を行いました。その結果、帰宅時間については、チャイムを頼りにするのはなく、各家庭がお子さんに指導するものであるとの見解や、17時のチャイムが定着していることなど、時間変更について否定的な意見が多く出ました。これに基づき、市では、時間変更の必要性は低いと判断し、現段階での時間変更を見送りました。

今後も、青パトの巡回時間の増加、地域へのパトロールの協力依頼などで、児童生徒の安全確保に積極的に対応していきます。

Q2 有料老人ホームに入所したいが経済面で不安があります。将来、特別養護老人ホームの増設計画があるのか教えてください。

A2 平成20年度に開設予定の特別養護老人ホームが1カ所あります。今後の計画については、介護保険法により、3年ごとに事業計画の見直しを行なうことになっており、平成20年度に「えびな高齢者プラン21(介護保険事業計画)」の見直しを実施する予定です。この中で、特別養護老人ホームなど必要な施設の設置を検討していきます。

■ 広聴相談課(☎235・4567)。

便利です！「えびな安全・安心メールサービス」

登録は online@city.ebina.jp まで空メールを送信。詳しくは、市ホームページまたは市生活安全課へ